

桑名市社会福祉協議会 長島支所 地域福祉係の取組み

平成26年度
福祉合同
クリスマス会
より



あの流行語を...

1. まめじゃ会ボランティアスタッフ増強作戦
2. 地域のつながりのまえに職場内のつながり
3. 地域のチカラで問題解決！PART II

1. まめじゃ会ボランティアスタッフ増強作戦

・市町社協の機能(役割)

- ①住民ニーズ・福祉課題の明確化、住民活動の推進
- ②公私社会福祉事業等の組織化・連絡調整機能
- ③福祉活動・事業の企画及び実施機能
- ④調査研究・開発機能
- ⑤計画策定、提言・改善運動機能
- ⑥広報・啓発機能
- ⑦福祉活動・事業の支援機能



資料 1 参照

国際厚生事業団「平成22年度福祉行政」研修時資料

「社会福祉協議会の役割と機能」全国社会福祉協議会 野崎吉保氏 作成 より抜粋

1. まめじゃ会ボランティアスタッフ増強作戦

26. 「まめじゃ会」

○ 介護予防に資するよう、
多様な通いの場を創出することは、
重要。



平成26年9月25日
善明寺を活用した「まめじゃ会」

○ 旧長島町の15か所の集会所等において、
市社会福祉協議会を中心として、自治会、老人クラブ、
民生委員、健康推進員、ボランティア等と連携しながら、
茶話会等を内容とする「まめじゃ会」を開催。

(注) 平成25年度には、15か所で延べ80回。

高齢者
ふれあい
いきいき
サロン

住民へのはたらきかけなど、社協の
諸先輩方の地道な努力の成果に感謝・・・

1. まめじゃ会ボランティアスタッフ増強作戦

テーマ選定の理由

地域が抱える
課題は・・・

- ・スタッフの高齢化と後継者不足が深刻・・・
- ・「まめじゃ会」の運営をやめようかと悩まれる方も・・・



押付まめじゃ会の様子



フェニックスまめじゃ会の様子

1. まめじゃ会ボランティアスタッフ増強作戦



どうして地区社協が
関わるの？

参考

まめじゃ会に携わるボランティアさんとお話をしていると、
「①ボランティアスタッフの高齢化と後継者不足」「②サロ
ンにおける催しのマンネリ化」等の課題が見えてきます。

これらは長島地区が現在抱える「ニーズ（課題）」であり、
このニーズに対し、地域の住民が主体となり、「横のつな
がり」と「話し合い」を通して解決に向けていくのが地区
社協だからです。

ここでは課題②に対して、新しくかつ「介護予防」にも資す
る機会を提供していくことが地区社協の事業となります！

先ほどの
提案③を
実現してい
くことも可
能ですね



1. まめじゃ会ボランティアスタッフ増強作戦

現状を把握するために アンケートの実施



「まめじゃ会 ボランティアスタッフアンケート」

いつもまめじゃ会の運営にご協力いただいております。…
今後の運営、社会福祉協議会の協力体制や支援方法等の参考にするため、アンケートにご協力を
よろしくお願いたします。…

※該当する番号に○をつけてください。

1. 地区名をお教えてください。
(地区)
2. 年齢をお教えてください。
(1) 40歳以下 (2) 50歳代 (3) 60歳代 (4) 70歳以上
3. まめじゃ会ボランティアスタッフをどれくらい続けていますか？
(1) 3年未満 (2) 3年以上5年未満
(3) 5年以上10年未満 (4) 10年以上
4. まめじゃ会ボランティアスタッフについて、「後継者不足だ」と感じますか？
(1) 感じる (2) 感じない (3) どちらともいえない
5. まめじゃ会の運営について、日頃思っていること等ありましたらご自由に記入してください。

1月16日（金）までに社協事務所へご提出していただけますと幸いです。

ご協力ありがとうございました 社協長豊支所

各地区のスタッフさんに
アンケート用紙配布

回答数 91人（回収率93%）

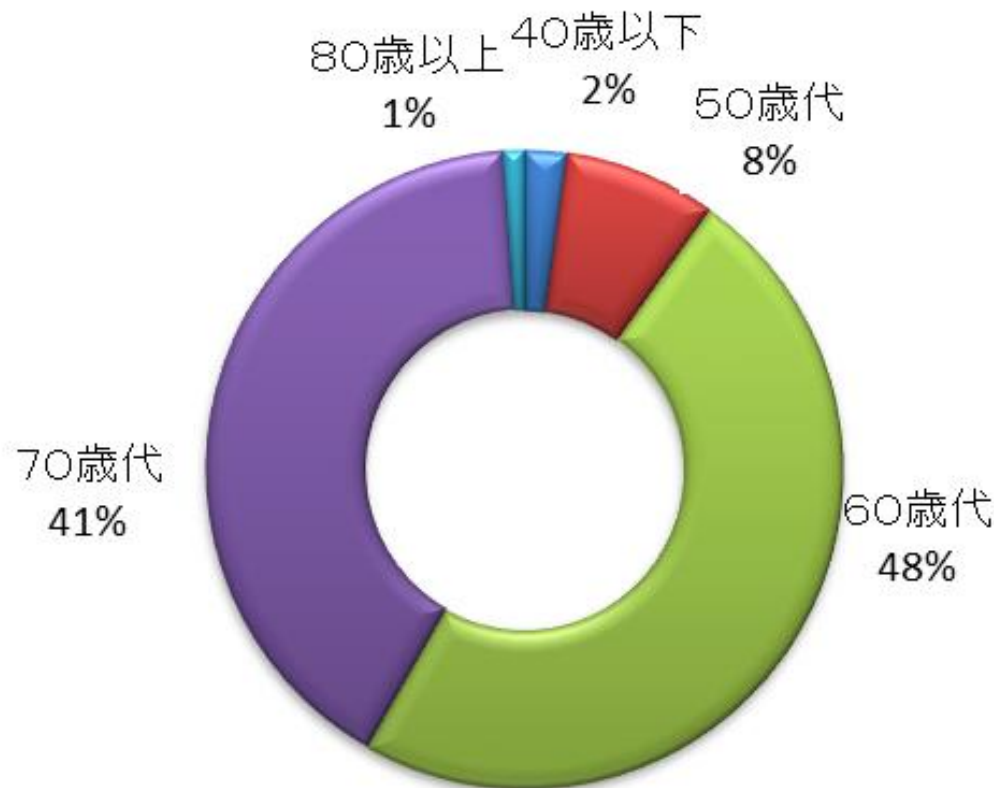
結果は・・・次のスライドへ

1. まめじゃ会ボランティアスタッフ増強作戦

集計結果①

設問(1) 年齢を教えてください

まめじゃ会ボランティアスタッフの年齢

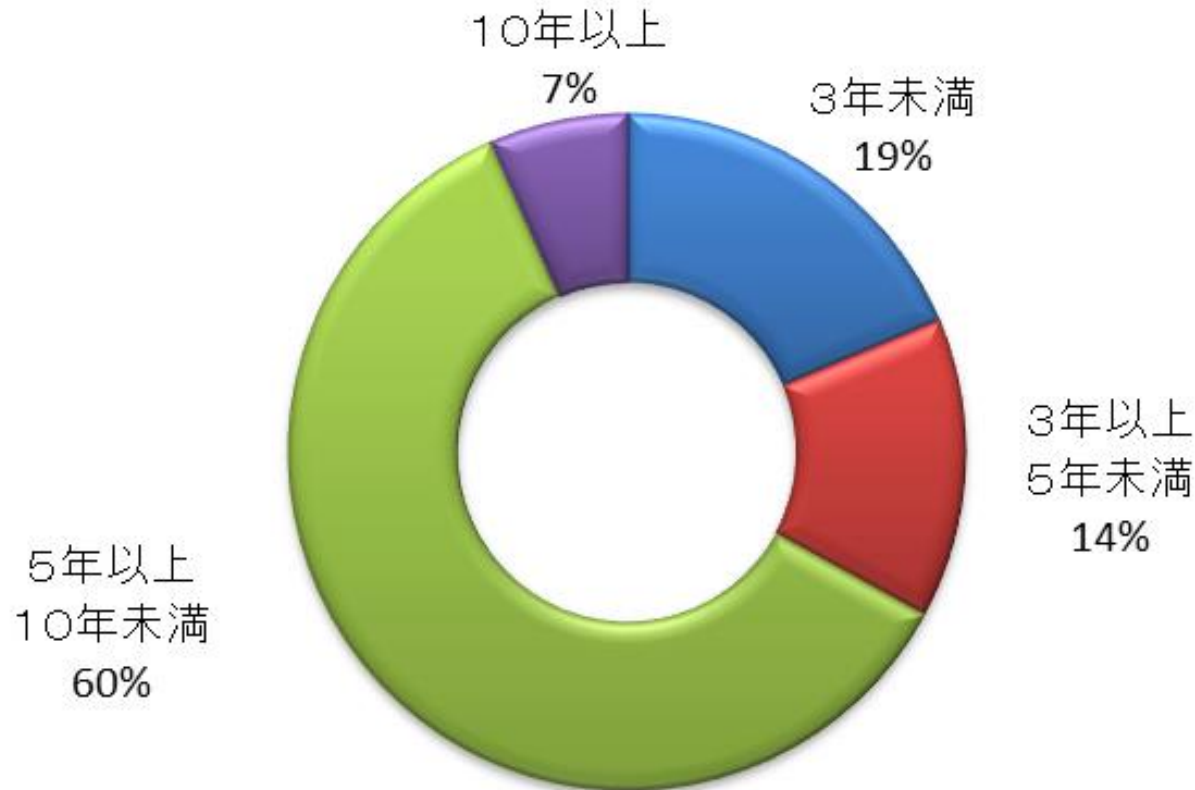


1. まめじゃ会ボランティアスタッフ増強作戦

集計結果②

設問(2) スタッフをどれくらい続けていますか？

ボランティアスタッフの継続期間

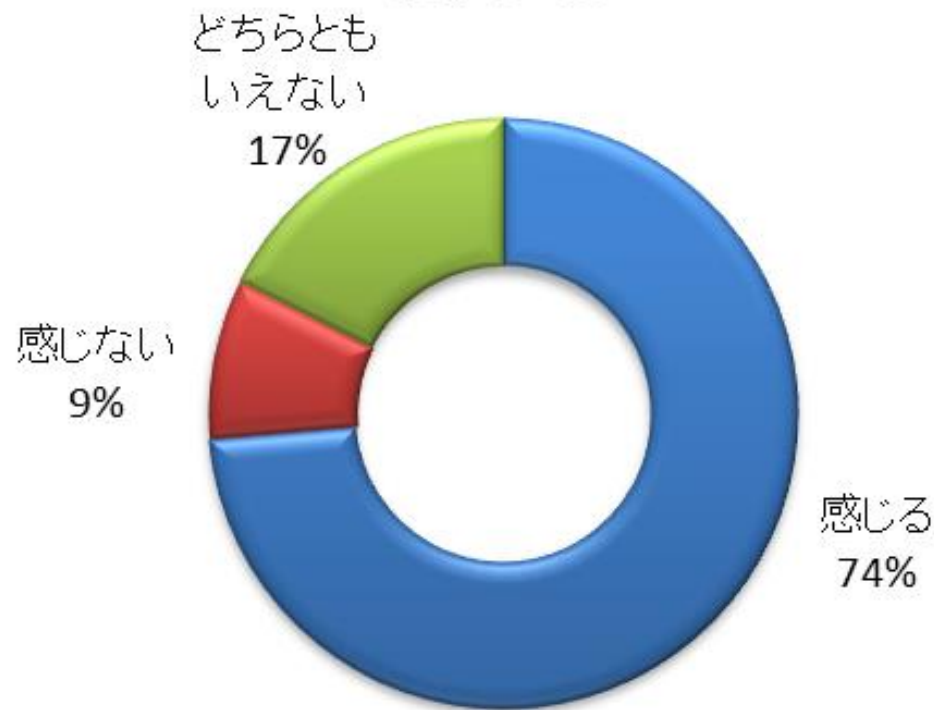


1. まめじゃ会ボランティアスタッフ増強作戦

集計結果③

設問(3)スタッフについて「後継者不足だ」と感じますか？

スタッフについて「後継者不足」と 感じる？



1. まめじゃ会ボランティアスタッフ増強作戦



目標の設定



- 平成27年4月から各地区のまめじゃ会にスタッフとして協力する団体が複数存在し、結果的に各地区まめじゃ会スタッフが増えて活性化！
- まめじゃ会実施地区を1つ増やす！

1. まめじゃ会ボランティアスタッフ増強作戦

活動計画策定



まめじゃ会ボランティアスタッフ増強&自立体力検定実施大作戦

平成 26 年 11 月 12 日

作成：小柳・竹政

地域全体のニーズ	まめじゃ会ボランティアスタッフの高齢化と後継者不足
健康推進委員会 (ボランティア) のニーズ	健康推進委員会として、まめじゃ会に協力したい。スタッフとして活躍したい(活動をする場を求めている)。 ※実際に既に委員がボランティアとして参加している地区もある (姫御前、出口、赤地・葭ヶ須・鎌ヶ地、新所の4箇所) → 体力検定を実施する際のモデル地区にする
地区社協のニーズ	・活動を推進したい ・自立体力検定をまめじゃ会で実施する取り組みを進めたい ・まめじゃ会スタッフ増強に力になりたい
まめじゃ会からの ニーズ	・内容のマンネリ化(新しいことをしたい) ・参加者を増やしたい(男性)
利用者のニーズ	・外出する機会、人とふれあう機会、楽しみがほしい

お手元の資料を
ごらんください

資料2参照

1. まめじゃ会ボランティアスタッフ増強作戦

手順1

健康推進員会（地区社協事業推進委員の一員）より、会としてのまめじゃ会への協力について打診を受けていたため、会長と社協事務局とでまめじゃ会への協力体制の確認、今後のスケジュールについて話し合う場を設けました。



スケジュール(別紙参照)

1月21日
地区社協事業推進委員会

1月28日
健康推進員に「まめじゃ会について」「自立体力検定について」の研修会

2月1日
ボランティア募集チラシを長島町内全戸配布
(社協だよりにも記事掲載)

2月16日
まめじゃ会スタッフ交流会 &
まめじゃ会説明会 開催

3. 自立体力検定に取り組んでいきましょう⑦



どうやって取り組むの？

参考

長島地区が誇るべき高齢者ふれあいサロン
「まめじゃ会」

で実施できればと思います。検定には、測定者が必要なため、「測定」という側面と、「備品貸出と費用負担」という側面等から地区社協が関わっていただけたらと思います。



1. まめじゃ会ボランティアスタッフ増強作戦

手順2



「スタッフ交流会＆説明会」
に新規のボランティアさんにも
参加してもらうことを目的に
チラシを作成しました。
2月1日に長島町内全戸配布
予定です。

あなたの笑顔を地域の福祉に活かしてみませんか？

まめじゃ会

ボランティア募集のお知らせ

まめじゃ会とは・・・
高齢者の生きがいづくりを目的に、レクリエーションや茶会、食事等を楽しむ会です。桑名町内15箇所で開催されており、それぞれの地区のボランティアさんのおで運営されています。

・・・他地区でも様々な楽しい催しが行われています！

まめじゃ会スタッフ交流会＆まめじゃ会説明会を開催します！！
桑名市社会福祉協議会桑名支所では、毎年、各地区のまめじゃ会ボランティアスタッフさんが集まり、交流会を開催しています。今年度は、この交流会で新たなイベントツールの紹介と協力団体へのまめじゃ会の説明会を同時開催します。
そこで、このチラシに目止めていただいた「ボランティアしてみたい」「まめじゃ会に興味がある」「ぜひまめじゃ会ボランティアスタッフになりたい！」といった方々にぜひこの『交流会＆説明会』にご参加いただけたらと思います！
年齢・性別不問、どなたでもご参加いただけますので、お気軽にご参加ください！
■日時：平成27年2月15日（月）9時～15時
■場所：長島福祉情報センター
■お申し込み・問い合わせ：桑名市社会福祉協議会桑名支所 25-42-2115

「新種にまめじゃ会も立ち上げたい」という方・・・活動をお手伝いします！

1. まめじゃ会ボランティアスタッフ増強作戦

手順3



資料3参照

地区社協事業推進委員会の実施

健康推進員会（地区社協事業推進委員の一員）が地区社協の参加団体として「まめじゃ会」に協力していくことを事業推進委員会にて確認、承認を得ます。

地区社協として自立体力検定実施の面から協力していくことや、その費用負担・予算等についても検討します。

また、今後他団体からも協力をいただけるように働きかけ、事業推進委員の研修会として「スタッフ交流会＆説明会」に参加してもらうよう呼びかけます。

1. まめじゃ会ボランティアスタッフ増強作戦

手順4



健康推進員に集まってもらい
研修会の実施（1月28日予定）

内容

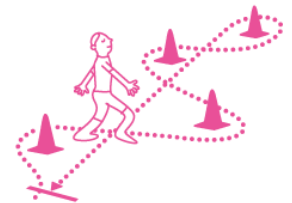
- まめじゃ会について簡単に説明
- まめじゃ会に協力することになった経緯の説明
- 自立体力検定の実施方法（測定等）について実際にやってみる

歩行

測定用具
コーナークン/ラインテープ

歩く、横断歩道を渡るなどの、歩行能力を測定します。

コーンの外側をジグザグに歩き、7m先のコーンを回ったら、帰りはまっすぐ戻ってくるまでの歩行時間を測定します。

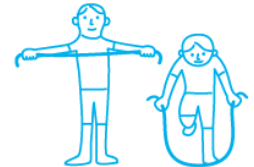


身体調整

測定用具
トレーニングチューブソフト

着替える、段差をまたぐなど、身体調整能力を測定します。

トレーニングチューブを、3回連続で回し終わる時の身体調整にかかった時間を測定します。



手作業

測定用具
ベグボードセット

家事をする、ボタンをはめるなど、手作業能力を測定します。

2列のベグを両手で同時に左右外側の穴に移動し、次に片側の手ずつ元に戻すまでの手作業にかかった時間を測定します。



姿勢変換

測定用具
ストレッチマット/ラインテープ/
パワーリングソフトタイプ

起きる、立つ、座るなどの、姿勢変換能力を測定します。

仰向きで寝た姿勢から立ち上がり、「イスに座る」「イスから立ち上がる」の動作を2回行います。最後にリングを拾い、頭の上に上げるまでの姿勢変換にかかった時間を測定します。



1. まめじゃ会ボランティアスタッフ増強作戦

手順5

『まめじゃ会スタッフ交流会＆まめじゃ会説明会』
の開催（2月16日予定）

プログラム

- ・現スタッフ、健康推進員、新規ボランティア、地区社協事業推進委員が一堂に集まり、「まめじゃ会」についての認識共有と今後に向けた「やる気」の醸成。
- ・アンケートの意見をふまえたプログラム構成と内容。
- ・午後は地区ごとに集まって交流。4月からの活動方針を話し合ってもらいます。

1. 支所長挨拶
2. 交流会実施の経緯説明
3. 各まめじゃ会の活動紹介（発表）
4. 新規立ち上げまめじゃ会の紹介
5. 地区社協について（健推紹介）
6. 今後のイベント等について（自立体力検定やVr紹介等）
7. 質疑応答
8. 昼食休憩
9. 地区ごとに交流会
10. 諸業務連絡（質疑応答）
11. 閉会

資料4参照

1. まめじゃ会ボランティアスタッフ増強作戦

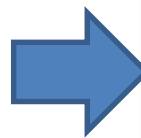
今後

この「交流会&説明会」を経て、4月からのまめじゃ会では新しいスタッフが加入しての活動となります。

現スタッフの負担軽減と意欲向上、まめじゃ会の活性化とさらには利用者の増加に繋がればいいなと思っています。

QCストーリー

1. テーマ選定の理由
2. 現状把握
3. 目標の設定
4. 活動計画策定
5. 要因の解析と検証
6. 対策の検討と実施
7. 効果の確認
8. 標準化と管理の定着
9. 活動の反省と今後の課題



平成27年度1年間のまめじゃ会活動を通して、左の7～9を行います。

7. 聞き取り調査とアンケート
(数値をデータ化)
8. 9. スタッフ交流会にて検討
事務局にて検討



第3者にもわかりやすく評価をまとめる！

2. 地域のつながりの前に職場内のつながり

長島支所地域福祉係では、松田支所長の「地域のつながりを強くしたいなら、それに取組む者自身の意識も大事だ！」という熱い思いのもと、「チームワークの強化」（と健康づくり）を主眼にサークル活動を行っています。

メンバーは地域福祉係のみだけでなく他部署からも募り、毎週1回、「ノー残業DAY」を活かし、ソフトバレーボールで汗を流しています。

チーム名
は...

エス エヌ エス

S N S

Syakyo **N**agashima **S**hisyo



3. 地域のチカラで問題解決！PART2

地区社協の事業ではありませんが、地域がつながった好事例を一つご紹介します。



生活の立て直しのために、いわゆる「ゴミ屋敷」の片付けの相談が市社協にはいりました。介護保険は使えない・・・、障害者サービスも使えない・・・、経済的にも厳しい(民間サービスも使えない)・・・、いわゆる「制度の狭間」の問題。さて、どうしよう？地域の方の力は借りれないだろうか・・・？

3. 地域のチカラで問題解決！PART2



提案②の事例
ですね



参考

こんなにきれいになりました！



該当地区(出口)の方に声をかけたところ、民生児童委員を中心として、ボランティアグループ、自治会等延15名程が協力してくださり、2日間にわたって片付けを実施しました。本人も衛生的な生活をすることの喜びと自覚を覚え、また地域とのつながり(挨拶や声かけ)もできてきています。

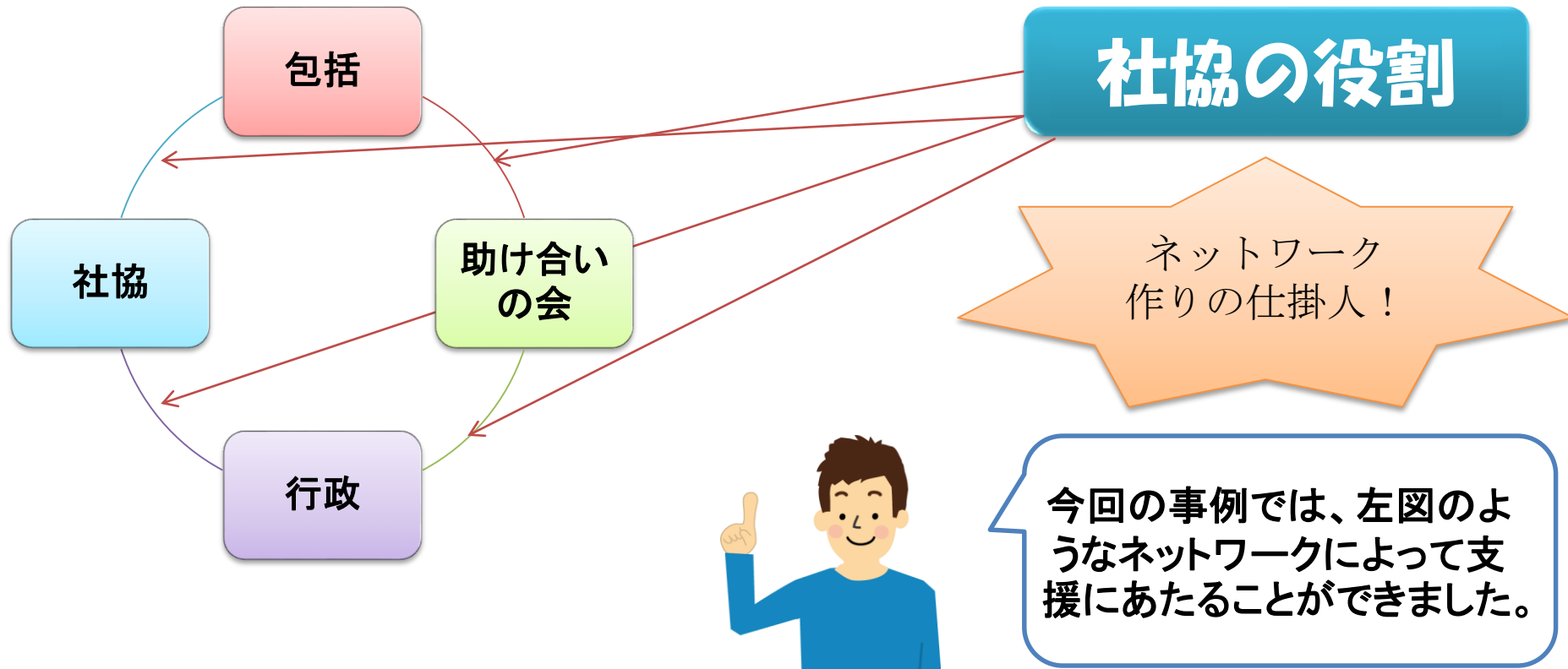
3. 地域のチカラで問題解決！PART2



27年1月より、北部東包括支援センターが社協長島支所に属するため、職場会議等での情報提供や地域福祉課題の検討等、より緊密な連携が可能となりました。

北部地域包括支援センター（現北部東包括支援センター）から姫御前地区のひとり暮らし高齢者が「家庭の廃棄物処理で困っている」「物につまづいて転倒の危険がある」等の相談が地域福祉係に入りました。姫御前地区には「助け合いの会」というボランティアグループがあり、相談を持ちかけたところ支援が実現。地域住民、行政、**包括、社協**が協力して問題解決にあたりました。

3. 地域のチカラで問題解決！PART2



ネットワークは自然発生的にできるものでなく、必ず「仕掛人」が必要です。
 またネットワーキングにはそれが機能するための「原則」があり、「原則」を遵守できる専門性が必要です。これはまさしく社協が担うべき役割だと考えています。
 また、ネットワークが機能する基盤は、1対1の関係がまず良好であることです。
 （『平成26年度ボランティアコーディネーター養成研修』での学びより）

今後も「社協の役割」を念頭に 地域福祉活動を推進していきます！

今後取り組んでいきたいと考えていること

①住民ニーズ訪問聞き取り調査の実施

→ データ化・事業化

②町内小中学校と連携した福祉教育実践

→ 先生と共同でプログラム開発、実施

③町内福祉施設等と連携したボランティア 養成講座の企画・実施

→ 受講後のプログラム開発まで視野に入れて

何事も全力の長島支所地域福祉係 は今日の発表会も全力・・・

ちなみにこれはソフトバレー交流会で30代チームが優勝したときの賞状（40代チームは準優勝でした）



ここにもう1枚賞状を飾れたらいいな～

社協長島支所地域福祉係（一同）



ありがとうございました

